

全教一斉ひのきしんデー4月29日

報告



263名の参加があり**45名**が献血にご協力下さいました。

ご参集有難うございました。献血内訳(400cc43名 200cc2名)

〈報恩・感謝・ひのきしんの姿〉

4月29日、晴天のご守護のもと、松原中央公園に263名が参集、午前8時30分より11時頃まで2時間に亘り、除草・清掃ひのきしんにつとめました。皆さんありがとうございました。尚、午前・午後まつばらテラス前に献血車を配車し「献血ひのきしん」を実施しました。

ひのきしん中、参加者の声をインタビューしましたので僅かながら掲載します。

「学生会の頃に来ていたが久しぶりの参加、懐かしく来てよかった。」(3組 T.C様)

「お道の者ばかりでなく、一般の人への呼びかけ、出来ないだろうか」(2組 K.T様)

「支部内にもっと沢山の信者さんが居られるのに何だか少ないね。」(1組 N.H様)

「お互いに声掛け合っての参加、来年は実行します。」(1組 K.K様 3組 Y.A様)

感謝の心を寄せ合って 一手一つにひのきしん

(全教一斉ひのきしんデーにともない)

大阪教区長は『ひのきしん いつもきれいに 道の玄関』をスローガンに、地域のお道の友達がひのきしんを通して、お互いに顔を合わせ、ネットワーク作り・たすけあいの場の広がりを目指しておられます。

松原支部は現在、月々に各公園等で既にひのきしんを実施しておりますが、全体の動きとしては全教一斉ひのきしんデーにとどまらず、年何回か場所を決めて実施しようと思っております。そしてひのきしん現場でお互いに語り合い、道の友達として交友を深め、たすけあいの場を広げたいものです。

又、松原支部長は各家庭で何か困っている方があれば、支部の人が出向いて行って手助けをさせていただこうとの思いです。

例えば、◎障子紙を貼りたいなあー ◎大きい植木を切りたいなあー ◎このような建築材料が余ってます 等々。

有れば連絡下さい。ご相談しますよ！

連絡先：ひのきしんクラブまつばら 代表：小松崎義博 090-4301-7792

■松原支部「定例にをいがけ日」発足

立教 181 年の時旬、おぢばでは全教挙げて初参拝者(初めておぢばや教会に参拝すること)の増加を啓蒙されています。地域の教友が集い地域に神名を流し、互いに勇心を共有しましょう。

日 時：毎月 28 日の午後 1 時より約 1 時間。

場 所：河内松原駅前交番横広場

内 容：神名流し・路傍講演(希望者)・チラシ配り・ゴミ拾い・その他。

対 象：教会長・ようぼく・信者全員。

服 装：自由。ハッピーを着ても良し。私服でも良し。

持 物：チラシ(各自で用意)、路傍講演用の原稿やフリップ(支部で用意しますが、各自の物があればそれを使って下さい)

責任者：布教部 栗栖東平・松本篤司

◆婦人会例会

日時：5月30日(水) 13:30～

会場：松繁分教会

内容：例会及び、女鳴物練習。

担当)森繁礼子 ☎331-5001

《これからの支部活動》

◎こどもおちばがえりひのきしん募集

・食事係(9時～14時) 女性

7/28(土)・8/3(金)

・宿舎係A(9時～14時)女性

7/25(水) 7/26(木)

・宿舎係B(16時30分～翌日9時)

女性 7/30(月) 8/3(金)

※お力添え、御協力の程よろしく
お願い致します。

申し込み・・・森繁礼子(婦人会主任)

☎331-5001

◎松原市民祭り支援ひのきしん

場所 松原中央公園

日時 8月4日(土)16時～22時

5日(日) 8時～18時

内容 場内清掃ひのきしん

(まつばら中央公園)

※来月にひのきしん御依頼用紙を配
ります。暑い中ですがよろしくお
願いします。

※8月4日(土)松原市民祭りオープ
ニングパレードに愛光鼓笛隊が出演
します。声援下さい。

★支部活動へのご質問等は組長にお尋ねください。

1組 大平六郎 ☎336-3185 西野々1丁目 17-28

(副組長)松本篤司 ☎332-3746 阿保1丁目 12-1

2組 綿谷善和 ☎336-5859 新堂5丁目 324-4

3組 朝倉裕三 ☎331-7914 東新町5丁目 18-15

4組 河竹久子 ☎331-3936 天美東2丁目 165-1

《教区・支部ねっと》

スマホ・パソコンで「天
理教 松原支部」と検索
しても支部活動を確認
できます。

《地域ひのきしん》

河内天美駅前広場	第1日曜	5時～6時
天美北児童公園	第2日曜	9時～10時
阿保公園	第3日曜	7時半～8時半(雨天中止)
岡公園	第3日曜	9時～10時
阿保東部第一公園	第4日曜	9時～10時



神のふところ住まい

教区と支部の活動

教会はそれぞれの系統により、本部直属教会を通してぢばにつながっています。これを縦の活動組織とすると、もう一つ、横の組織というべきものがあり、これによって地域活動を行っています。その大きな単位が教区です。

北は北海道から南は沖縄に至るまで、各都道府県に所在する教会は、それぞれの教区に包括(ほうかつ)されています。すなわち、東京都にある教会は東京教区の管轄下にある、というわけです。

教区の長を教区長と言い、その事務所を教務支庁と称します。海外教区の場合は、管轄する国や地域の長を伝道庁長と言い、その事務所を伝道庁と称します。ただし海外の場合は、現在のところ、国や地域単位の伝道庁が置かれているとは限りません。

教区は若干の支部に分けられていますが、教区によって支部の数が多いたるところと少ないところがあります。また、支部の区分には多少の変動があります。

日常的な活動は、支部を単位として行われることが多いと言えます。すなわち、ひのきしんとか、陽気ぐらし講座など、信仰向上と布教のための催しなどが、それです。

支部の下には組と言う単位が置かれ、きめ細かい活動は主として組単位で実施されます。

おぢば帰りの団体も、しばしば教区単位で編成されます。教区報なども出され、本部や教区の通達、連絡事項などが、管内教会へスムーズに流れるよう図られています。

天理教の信者は、一定の教区・支部の一員として、地域活動を進めるとともに、信仰的には、それぞれの教会を通じて、系統的にはぢばにつながっていることとなります。また、大阪から東京へ移住した人は、自動的に教区・支部が変わりますが、所属教会は不変です。